

霧島市新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 必要書類一覧表

No.	提出書類等	具体的な書類例	○→必須 △→場合により 必要	確認欄
①	本支援金の支給申請書	・様式1-1 ホームページからダウンロード可能です。	○	
②	申請時確認書	・様式1-2 ホームページからダウンロード可能です。	○	
③	本人確認書類の写し	運転免許証、住民基本台帳カード、旅券（パスポート）、在留カード、各種障害者手帳、健康保険証、住民票、戸籍謄本など	○	
④	社会福祉協議会が実施する特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金の初回貸付・再貸付）が確認できる書類	(1)緊急小口資金及び初回貸付を受けた世帯 ⇒緊急小口資金及び初回貸付の借用書（控）または貸付決定通知書の写し、振込がわかる通帳 (2)再貸付を受けた世帯 ⇒再貸付の借用書（控）または貸付決定通知書の写し、振込がわかる通帳 (3)再貸付が不決定となった世帯 ⇒不決定通知書の写し、これまでに借りた特例貸付の振込がわかる通帳	△ ※④がない場合は⑤が必要	
⑤	再貸付不承認・過去借入状況申告書	・様式1-3 ホームページからダウンロード可能です。 ※④の借用書、決定・不決定通知書がない場合に提出	△ ※④がない場合のみ	
⑥	収入が確認できる書類の写し 【世帯全員分】	給与明細表、売上・経費のわかる台帳、手当・年金等の振込記録（通帳）など ※収入が無い場合は、通帳など	○	
⑦	金融資産が確認できる書類の写し 【世帯全員分】	通帳、ネットバンクの残高確認画面のコピー（申請前には記帳し、最新ものを提出下さい。） ※世帯員全員のお持ちの口座全てが必要 ※貸付の振込確認、支援金の振込先確認にも必要	○	
⑧	生活保護の申請をしていることがわかる書類	保護申請書の写し（保護の実施機関の受領印があるもの） ※生活保護を申請中である場合のみ	△ ※保護申請中の場合のみ	

今後の生活の自立に向けて、下記のいずれかの活動を行うことが必要です。

※活動が確認できない場合には、支給中止となります。

(1) 公共職業安定所に求職の申し込みをし、誠実かつ熱心に求職活動を行うこと（具体的には下記①～③）

- ① 月1回以上、自立相談支援機関（こども・くらし相談センター）の面接等の支援を受ける
- ② 月2回以上、公共職業安定所等で職業相談等を受ける（要予約。）
- ③ 原則週1回以上、求人先へ応募を行う又は求人先の面接を受ける

※ ①～③の活動は所定の様式で報告を行っていただきます。

報告様式、報告方法、報告時期などの詳細は、支給決定者に対してお知らせします。

(2) 就労による自立が困難であり、この給付終了後の生活の維持が困難と見込まれる場合には、生活保護の申請を行うこと